

【創世記第14章】

「祝福を受けよ。アブラム。天と地を造られた方、いと高き神より。」

(創世記14:19)

皆様は天と地を造られた神様から愛され、選ばれ、祝福されてここに来ておられます。今日はアブラムが神様から祝福されたという話です。

叔父さんと別れ、滅ぼされる前のソドムに移り住んでいたロトですが、ここで連合軍が来て戦争が始まり、11節「ソドムとゴモラの全財産と食糧全部を奪って行った。」12節「彼らはまた、アブラムのおいのロトとその財産をも奪い去った。」地上の繁栄を求めたロトは全てを失っています。人は主と金とに仕えることは出来ません。(マタイ6:24)神様は時としてこのような方法で、人間にとって何が大切な事なのかを教える為に心を奪われている物事を取り上げてしまわれる事があります。

台湾に住んでいた頃の話です。大きな靴の卸業で、非常に繁栄していた企業家がありました。夫婦ともクリスチャンでしたが、この工場が火事で全焼してしまつたのです。私達はお気の毒に思い、何と慰めていいのかわからなかったのですが、「工場は焼けたけど、私たちの信仰は焼けていないよ!」と素晴らしい信仰告白をされました。その後、私達は日本に引き上げてき、数年経って台湾を訪れたことがあります。その時に見た光景は素晴らしいものでした。彼らの会社はもっと規模の大きな近代的なものに変えられていて、ご夫妻の信仰ももっと輝いていました。ハレルヤ!!

アブラムはロト達が略奪された事件を聞いて、しもべ318人を集めてロトを救い出しに行きました。まさに家族親族の救出劇です。彼に戦術などはなかったでしょう。しかし神が彼と共におられ、知恵と力を与えられ勝利(16節)を与えられました。

帰ってきた彼に2組の面会者がありました。一組はソドムの王、他方は、シャレムの王メルキゼデクがパンとぶどう酒を持って来ました。彼はいと高き神の祭司でした。勿論その戦争には加わらず、アブラムを祝福したのです。その言葉が上のみ言葉です。19、20節「祝福を受けよ。アブラム。天と地を造られた方、いと高き神より。あなたの手に、あなたの敵を渡されたいと高き神に、誉れあれ。」それに対してアブラムは十分の一をメルキゼデクに捧げています。既にここに祝福された聖餐式と十分の一献金の事が述べられているのです。シャレムというのはシャロームの意味でメルキゼデクは“正義の王”という意味があります。平和の王イエス・キリストの型だと言われています。(ヘブル人7:1~)

もう一組はソドムの王「人々は私に返し、財産はあなたが取ってください。」と言いますが、アブラムは22,23節のように地の王ソドムから決して受けようとはしませんでした。聖なるものとそうでないものを見分けているのです。聖なるシャレムの王メルキゼデクからは聖餐式にあずからせていただき、十分の一という捧げものをした聖い交わりをしています。アブラムがその後「信仰の父」と言われた理由がここでもわかります。天と地を造られた方、いと高き神からだけ祝福を受けるという徹底した信仰は神を喜ばせています。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師：イエス・キリスト

牧師：ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.8.31 No.804

新年のみ言葉

いつも主にあつて喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16



エルサレムの平和のために祈れ。「おまえを愛する人々が栄えるように。」
詩篇122:6

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccrh/>

